

船舶事故等調査報告書

平成22年3月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第59号
事故等種類	I 1件目の事故 衝突（岸壁） II 2件目の事故 衝突（着岸船）
発生日時	I 1件目の事故 平成21年2月23日 11時10分ごろ II 2件目の事故 平成21年2月23日 11時35分ごろ
発生場所	I 1件目の事故 京浜港東京第3区お台場ライナーふ頭H岸壁 (概位 北緯35°36.8′ 東経139°47.4′) II 2件目の事故 京浜港東京第3区お台場ライナーふ頭I岸壁付近 (概位 北緯35°36.7′ 東経139°47.5′)
事故等調査の経過	平成21年2月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 ^{パン} ライズ PAN RISE（大韓民国）、5,484トン 9009061（IMO番号）、KDB CAPITAL CO. B 貨物船 ^デ トン DE TONG（カンボジア王国）、1,088トン 8514148（IMO番号）、DE TONG SHIPPING CO. LTD.
乗組員等に関する情報	A 船長、大韓民国籍 B 船長、中華人民共和国籍
死傷者等	なし
損傷	A 球状船首にき裂を伴う凹損、左舷船尾部外板に擦過傷 岸壁 コンクリートが欠損 B 左舷船尾部外板に擦過傷、ボートデッキの左舷船尾部が曲損
事故等の経過	I 1件目の事故 A船は、バウスラスターを備えていない船尾船橋型の船舶で、船長ほか15人が乗り組み、お台場ライナーふ頭H岸壁に着岸作業中、岸壁の約20m手前で行きあしを止めようとしたが、左舷錨の投下と機関を後進にかける時機が遅れ、11時10分ごろ、A船はH岸壁にほぼ直角に衝突した。 II 2件目の事故 船長Aは、1件目の事故後、H岸壁の少し北方に投錨し、タグボートの手配を依頼したが、時間がないことからタグボートの援助なしで同岸壁に着岸しようとしたところ、風に圧流されて左回頭し、11時35分ごろ、A船の左舷船尾部が南方のI岸壁に着岸中のB船の左舷船尾部と衝突した。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北、風力 4～5、視程 約3km 海象：潮汐 上げ潮の初期

分析	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p> <p>A あり、B なし A なし、B なし A あり、B なし I 1件目の事故</p> <p>A船は、お台場ライナーふ頭H岸壁に着岸作業中、左舷錨の投下と機関を後進にかけるとき機が遅れたことから、前進行きあしを止めることができず、A船の船首がH岸壁にほぼ直角に衝突したものと考えられる。</p> <p>II 2件目の事故</p> <p>A船は、1件目の事故後、着岸しようとした際、風に圧流されたことから、I岸壁に着岸中のB船に衝突したものと考えられる。</p>
原因	<p>I 1件目の事故</p> <p>本事故は、A船が京浜港東京第3区において、お台場ライナーふ頭H岸壁に着岸作業中、投錨と機関を後進にかけるとき機が遅れたため、前進行きあしを止めることができず、H岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p> <p>II 2件目の事故</p> <p>本事故は、京浜港東京第3区において、A船がお台場ライナーふ頭H岸壁に着岸作業中、B船がI岸壁に着岸中、A船が風に圧流されたため、B船に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>